

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

| | | | | | |
|-----------|--------------|--------------|------|-------|------|
| 評価対象事務事業名 | もりおか老人大学開催事業 | | | 事業コード | 0435 |
| 担当課等 | 所属名 | 保健福祉部 高齢者支援室 | | 担当係名 | |
| | 課長名 | 渡邊 光市 | 担当者名 | 藤根 卓夫 | 電話番号 |

1. 事務事業の基本情報

| | | | | | | |
|--|---|-----------------|----------|-------------|---|----------|
| 総合計画体系 | 施策の柱 | いきいきとして安心できる暮らし | コード 1 | 施策 | 高齢社会に適応した高齢者福祉の充実 | コード 4 |
| | 基本事業 | 高齢者の社会参加の促進 | コード 1 | 関連予算 費目名 | 介護保険費特別会計 3款 1項 4目 一次予防事業普及啓発・支援事業費(001-01) | |
| | 特記事項 | | | | | |
| 事業期間 | <input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度 ⇒ (開始年度 昭和51年度～) | | | | | |
| 事務事業の概要 | 高齢者が自らの生活を健康で豊かにすることや、それぞれの経験や知恵を生かして地域を豊かにする社会活動をするによって生きがいのある生活を送れるようにするため、それらに必要な事柄を学習する機会を提供する | | | | | |
| 根拠法令等 | もりおか老人大学設置運営要綱 | | | | | |
| この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか) | | | | | | |
| 昭和48年3月に策定した盛岡市勢発展総合計画の大きな柱に「福祉都市づくり」を掲げ、厚生省(当時)の昭和51年「老人のための明るいまち推進事業」により3年間の補助を受けスタートした。 | | | | | | |
| この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか | | | | | | |
| 「もりおか老人大学の「老人」という文言に抵抗があるとの声がある | | | | | | |
| 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか。今後の見通しはどうか | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の生活や興味が多様化し、新規入学者数に対する後期高齢者の割合が高くなっている。 ・前期高齢者のニーズに合った講座内容が求められている。 ・意欲や能力がある退職期を迎え始めた「団塊の世代」の社会活動参加意欲を活かすための環境づくりが本事業に一層求められる。 ・民間開放提案により平成21年度から特別講座に係る運営を民間委託。今後の方針策定のためにも関係機関や教授等の意見等を集約していく。 | | | | | | |

2. 事務事業の実施状況(Do)

| | | | | | | |
|---------------------------------------|---|---|--------------------------|--|----|---|
| ①対象 (誰を、何を対象としているのか) | 60歳以上の市民 | ⇒ | ②対象指標 (対象の大きさを示す指標) | A. 60歳以上の市民(前年度3月31日現在人口統計) | 単位 | 人 |
| | | | | B. | 単位 | |
| | | | | C. | 単位 | |
| ③手段 (事務事業の内容、やり方、手順) | 22年度実績(22年度に行った主な活動) ・開講期間:7月～1月 ・分校数:23校 ・講座数:「本校講座」…7回 「分校講座」…各分校9回 「特別講座」…5回 本校講座は著名な講師を招き県民会館など大きな会場での講演会を行った。分校講座は学生の近隣の老人福祉センター等を会場とし分校ごとのカリキュラムを企画・実施した。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 22年度に同じ | ⇒ | ④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標) | A. 本校講座実施回数 | 単位 | 回 |
| | | | | B. 分校・分室数 | 単位 | 個 |
| | | | | C. 分校講座実施回数 | 単位 | 回 |
| ⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか) | 健康を維持し、地域活動に参加するなど豊かな生きがいのある生活を送れるようにする。 | ⇒ | ⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標) | A. 卒業者数 【指標の性格:●上げる ○下げる ○維持する】 | 単位 | 人 |
| | | | | B. 特別講座修了者数 【指標の性格:●上げる ○下げる ○維持する】 | 単位 | 人 |
| | | | | C. 【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】 | 単位 | |
| ⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか) | 社会参加の促進が図られている | ⇒ | ⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標) | 生きがい活動をしている高齢者数(単位:人) シルバー人材センター登録率(単位:%) | | |

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

| 区分 | 指標名 | 単位 | 20 年度実績 | 21 年度実績 | 22 年度計画 | 22 年度実績 | 23 年度計画 | 24 年度計画 | 目標年度 目標値 |
|-----------|--------------------------|----|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|
| 対象 指標A | 60歳以上の市民(前年度3月31日現在人口統計) | 人 | 80586 | 83161 | 83161 | 85889 | 83161 | 83161 | 26年度 |
| 対象 指標B | | | | | | | | | 年度 |
| 対象 指標C | | | | | | | | | 年度 |
| 活動 指標A | 本校講座実施回数 | 回 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 26年度 |
| 活動 指標B | 分校・分室数 | 個 | 23 | 23 | 23 | 23 | 23 | 23 | 26年度 |
| 活動 指標C | 分校講座実施回数 | 回 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 26年度 |
| 成果 指標A | 卒業者数 | 人 | 686 | 674 | 810 | 748 | 810 | 810 | 26年度 |
| 成果 指標B | 特別講座修了者数 | 人 | 46 | 30 | 70 | 67 | 70 | 70 | 26年度 |
| 成果 指標C | | | | | | | | | 年度 |

⑩事務事業に係る事業費

| 区分 | 指標名 | 単位 | 20 年度実績 | 21 年度実績 | 22 年度計画 | 22 年度実績 | 23 年度計画 | 24 年度計画 | ***** |
|----------|--------------------------|----|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------|
| 事業費 | A | 千円 | 6,699 | 6,697 | 7,037 | 6,927 | 6,974 | 7,037 | ***** |
| 財源 内訳 | ④国 | 千円 | | | | | | | ***** |
| | ⑤県 | 千円 | | | | | | | ***** |
| | ⑥地方債 | 千円 | | | | | | | ***** |
| | ⑦一般財源 | 千円 | 6,699 | 6,697 | 7,037 | 6,927 | 6,974 | 7,037 | ***** |
| | ⑧その他 | 千円 | | | | | | | ***** |
| | 合計(④~⑧)(=A) | 千円 | 6,699 | 6,697 | 7,037 | 6,927 | 6,974 | 7,037 | ***** |
| | 延べ業務時間数 | 時間 | 2,000 | 2,000 | 2,000 | 2,000 | 2,000 | 2,000 | ***** |
| | 職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む) | 千円 | 8,000 | 8,000 | 8,000 | 8,000 | 8,000 | 8,000 | ***** |
| | トータルコスト(A)+(B) | 千円 | 14,699 | 14,697 | 15,037 | 14,927 | 14,974 | 15,037 | ***** |

3. 事務事業の評価(See)

| | | | |
|-------|--|--|--|
| 必要性評価 | ① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？ | <input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている | 理由: 高齢者が老人大学を通じて学習意欲を持ち、新しい人間関係を構築するなどいきいきとした暮らしに結びついている |
| | ② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？ | <input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である | 理由: 高齢者の社会参加や生きがい活動の促進、支援は行政の役割である ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 |
| | ③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？ | <input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である | 理由: 組織を離れた高齢者の社会参加、生きがい活動の促進を目的としている ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 |
| | ④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？ | <input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である | 理由: 高齢者の社会参加、生きがい活動の促進という目的に合致している ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 |
| 有効性評価 | ⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？ | <input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない | その内容: 学習内容の充実や参加学生の増加を図ることで向上が図れる |
| | ⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？ | <input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある | その内容: 高齢者の社会参加の機会を減少させる。 新たな学習意欲、生きがいを生む機会を減少させる |
| | ⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？ | <input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない | 事業名: 盛岡不来方大学院(教育委員会生涯学習課) ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> できない 理由: 勉学としての盛岡不来方大学院と広範は学習を通しての生きがいや地域での新しい人間関係の構築を目的とするもりおか老人大学とはその目的が異なる |
| 効率性評価 | ⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？ | <input checked="" type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 削減できない | その内容: 他の事業を講義に組み込むことにより削減の可能性がある |
| | ⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？ | <input checked="" type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 削減できない | その内容: 事業の運営方法を検討することで削減の余地がある |
| 公平性評価 | ⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？ | <input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない | 理由: 60歳以上の市民すべてに門戸は開かれている |
| | ⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？ | <input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない | 理由: バス旅行時の保険料等は実費負担としている |

4. 事務事業の改革案(Plan)

| | |
|---------|---|
| 改革／改善方向 | <p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 周知方法や講義内容の充実</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 個々の要望は多岐にわたることからその総てに対応するのは困難であるが、要望を聴取する機会を複数回設けることで対応</p> |
|---------|---|

5. 課長意見

| | | | | | | | |
|-----------------------------|--|--|-----------------------------|--|--|-----------------------------|-----------------------------|
| 一次評価 | <p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ② 有効性 ○ 妥当 ● 見直し余地あり ③ 効率性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり</p> | <p>(2)全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>高齢者の生きがいづくりの取組みとして、事業の必要性は高い。高齢者の学習意欲を高め、高齢者同士の仲間づくりを支援する事業として重要性が増しており、事業内容を検証しながら継続する必要がある。</p> | | | | | |
| 今後の方向性と改革改善案 | <p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="2"> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> </table> | | <input type="checkbox"/> 終了 | <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 | <input type="checkbox"/> 廃止 | <input type="checkbox"/> 休止 |
| <input type="checkbox"/> 終了 | <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 廃止 | <input type="checkbox"/> 休止 | | | | | | |
| |  | | | | | | |
| | <p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>周知方法の工夫や講義内容の充実に取り組む。</p> | | | | | | |